

## 鳩山内閣総理大臣が理研 CDB を視察

平成 21 年 1 月 17 日

平成 22 年 1 月 17 日（日）、鳩山由紀夫内閣総理大臣が理研 CDB を訪問、視察した。

竹市雅俊センター長の研究所概要説明の後、笹井芳樹グループディレクター（細胞分化・器官発生研究グループ、幹細胞支援・開発室室長兼任）、高橋政代チームリーダー（網膜再生医療研究チーム）らの案内により、ニワトリ胚や ES 細胞・iPS 細胞などの幹細胞、網膜の細胞など、実際の生物サンプルをご覧になった。

鳩山首相は、医療応用への貢献が期待される幹細胞研究は勿論（※1、※2）、凍結屍体から作成したクローンマウスについての研究成果（※3）など最新技術を用いた内容についても熱心に質問をし、「本当はこういう話好きだから、ずっと（視察して）いたいなという思いがあった」とコメント。また、「大震災でおおくの命が失われた神戸の地で、命をよみがえらせる研究が進んでいることは未来への大きな希望」と感想を述べた。



ニワトリ胚を観察する鳩山首相

### 関連記事

- ※ 1 [ES 細胞から層構造を持った大脳皮質組織の分化誘導に成功](#)
- ※ 2 [ヒト ES 細胞から視細胞の分化誘導に成功](#)
- ※ 3 [16 年間凍結保存のマウスしたいからクローン個体を作成](#)